

# 現代 韓国社会 の諸相

— グローバル化の中の家族、文化、政治

12月6日(金) 13:00～19:00

基調講演Ⅰ：チョ・ヒヨン（韓国・聖公会大学校教授）

『韓国政治と市民社会の挑戦と課題』

応答者：毛利嘉孝（東京藝術大学准教授）



韓国映画『Go Go 70s』

上映+解説

16:30～19:00（上映時間 118分）

12月7日(土) 10:30～16:30

基調講演Ⅱ：チョハン・ヘジョン（韓国・延世大学校教授）

『ワーカホリックと“メンタル崩壊”のあいだ：  
危機の日常化した東アジア社会についての考察』

応答者：本田由紀（東京大学教授）

人や情報の移動と共に変容し、混沌としていく地域社会、価値観の変化により多様化する家族、南北関係をはじめとする国内外の政治問題が韓国社会に及ぼす影響など、韓国研究は従来の範疇を超えた諸問題へ対応することが求められています。

本フォーラムではこのような視点から、“いまそこにある現代韓国社会像”を描き出すことを目的としています。

フォーラム初日は、韓国の市民社会と政治に焦点を当てていきます。環境主義 vs 土建主義、地方自治の課題、南北関係など、まさに現在の韓国政治と韓国社会との関わりについてのトピックが論じられます。

フォーラム二日目は、文化と家族、そして教育に焦点を当てます。現代韓国における文化空間の変容、韓国における既存の教育の限界とオルタナティブ教育の可能性、グローバル化の影響を受ける韓国の家族政策などが論じられます。

これら韓国における社会現象は、韓国独自の「特殊性」のみに基づくものではありません。日本との共通点も少なくないという意味で、本フォーラムは、韓国社会に対する理解とともに、日本社会に関する議論の入り口ともなりうるのです。

フォーラムは、すべて同時通訳付きで進行されます。また、韓国映画『Go Go 70s』の上映（解説付き）など、フォーラムのテーマにちなんだ特別企画も用意しています。韓国社会に関心のある学生や一般の方などの参加を心よりお待ちしております。1日だけ、あるいは映画上映のみの参加も可能です。

12月6日(金)

■ 13:10~14:10

基調講演 I: チョ・ヒヨン (韓国・聖公会大学校教授)  
『韓国政治と市民社会の挑戦と課題』  
応答者: 毛利嘉孝 (東京藝術大学准教授)

■ 14:25~15:40 [Session1 市民社会と韓国政治]

発表 1 イ・テドン (韓国・延世大学校助教授)  
『韓国の環境政治: 生態主義 vs. 土建主義』  
発表 2 キム・ボムス (韓国・延世大学校国家管理研究院研究員)  
『位階的ガバナンス構造下における  
ネットワークガバナンスの拡散: 韓国地方政治の事例分析』  
発表 3 アブラハム・キム (米国・モンタナ大学モーリーン&マイク・  
マンスフィールドセンター所長)  
『韓米関係における韓米市民社会の影響:  
挑戦、機会そして未来』

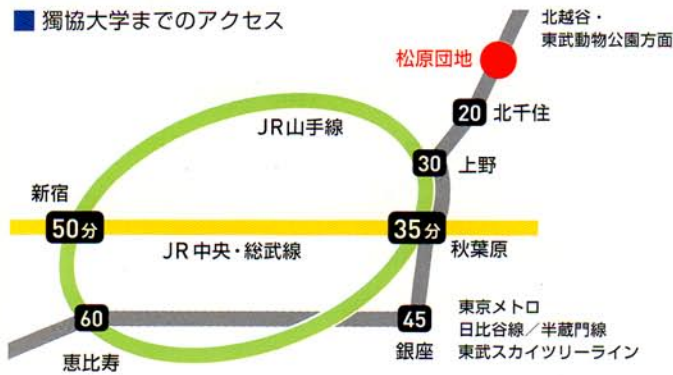
■ 15:40~16:10 討 論

■ 16:30~19:00 映画上映『Go Go 70s』(上映時間118分)  
(シン・ヒョンジュン氏による解説)

映画紹介 『Go Go 70s』(監督: チェ・ホ、2008年)

舞台は“夜間通行禁止令”があった1970年代の韓国。ゴーゴー・クラブで踊り明かす若者たちのあいだで絶大な人気を誇るボーカルのサンギユを中心に、伝説のバンド「デビルズ」メンバーの生き様を通じて、抑圧された青春の若さと激しさを描いた青春映画。  
主演は、ドラマ『馬医』をはじめ、映画『タチャ イカサマ師』などで主演のチョ・スンウ、共演にドラマ『魔王』などで活躍のシン・ミナという豪華キャスト。

■ 獨協大学までのアクセス



● 松原団地駅には各駅停車のみ停車します。ご注意ください。

12月7日(土)

■ 10:30~11:45 [Session2 移動・空間・文化実践]

発表 1 シン・ヒョンジュン (韓国・聖公会大学校HK教授)  
『ソウルの空間的变化と場所の文化政治 - 麻浦の場合』  
発表 2 シム・ウォンソプ (獨協大学特任教授)・  
平田由紀江 (獨協大学准教授)  
『ポスト3.11の思想:  
韓国における「脱核」ディスコースの現在』  
発表 3 チョン・ジョンフン (「スヌノモン」研究員)  
『韓国の脱制度圏知識運動の現在』

■ 13:00~14:00

基調講演 II: チョハン・ヘジョン (韓国・延世大学校教授)  
『ワーカホリックと“メンタル崩壊”のあいだ:  
危機の日常化した東アジア社会についての考察』  
応答者: 本田由紀 (東京大学教授)

■ 14:30~15:45 [Session3 家族と教育のいま]

発表 1 オム・ギホ (韓国・トクソン女子大学校兼任教授)  
『教育の不可能性: 出会い不在の学校、自らを  
取り締まる教師たち』  
発表 2 小島優生 (獨協大学准教授)  
『自律化させられる学び: 学校共同体の夢と挫折』  
発表 3 チョ・ジュウン (韓国・国会立法調査処立法調査官)  
『速度経済社会における韓国の中産層家族の現在:  
“企画された家族”』

■ 15:45~16:30 討 論



● 獨協大学は松原団地駅下車、西口より徒歩5分です。

■ 会 場: 獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂 ■ 入 場 料: 無 料

日本語・韓国語による同時通訳 (一部、日本語・韓国語・英語による同時通訳)

主催: 獨協大学国際交流センター/獨協大学国際教養学部

後援: 駐日韓国大使館 韓国文化院/公益財団法人日韓文化交流基金/埼玉県教育委員会/草加市/草加市教育委員会

協賛: SIMUL 株式会社サイマル・インターナショナル/ 三国コカ・コーラボトリング株式会社/ 三国フーズ株式会社



■ 問い合わせ: 獨協大学国際交流センター

☎ 048-946-1918 ✉ a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp

■ アクセス: 東京メトロ 日比谷線・半蔵門線直通/東武スカイツリーライン「松原団地」駅西口より徒歩5分